

【C1名】坂巻さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年9月16日 【作成時間】50分

設問

【問い1】今ならどのような質問ができるか。

- 1) 「致因決める感じ」というのはどういう感じなのでしょう。
- 2) 「一つの目標に向ってみれば頑張ってる」というのはどういうことですか。
- 3) 「怒られた経験がない」というのはどういうことですか。
- 4) 「別の店舗で店長や、作時の空気が違う」というのはどういったことですか。
- 5) 「楽しい」と違うかも知れない、それはどうしてそう思うのですか。
- 6) 「事情が分かってる別の店長」について、もう少しお伺いしてほしいですか。

【問い2】良かった点と悪かった点(各2行)

事例IのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 冒頭の「色々まじいかな」というお話しから感情に焦点を当て傾聴したこと、仕事に対する価値観や過去のエピソードをお話し頂けた点。

事例IIのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 感情に焦点を当てたことで、相談者の現在の職場での様子や仕事自体に対する気持ちの深堀りが不十分になってしまった点。

【問い3】クライアントの主訴

冒頭では、「色々まじいかな」という従業員とコミュニケーションが取り辛い状況であるということから、お話しを伺っていくと指示がうまく伝わっていない、年齢差もあり自身の価値観と合わないということであった。このことから、自身の過去の経験によって形成された価値観を基に仕事を進めていることで現在の職場に適応できていないことが現時点の主訴

【問い4】今後の展開(どのように進めるか)

引き続き、相談者の価値観や過去の経験について傾聴を重ねて信頼関係の構築に努める。現時点で傾聴が不十分であった現在の職場での様子やスタッフとの関係性をお伺いし、相談者の同意が得られれば、自身の価値観と擦り合わせのお話コミュニケーションを取るよう促す。その上で、現在の職場で良い働き方を実現するのか、転職などにより環境を変えるのか、今後について最良の意思決定ができる様支援する。